



危険予測・危険回避能力

子どもたちが楽しみにしているゴールデンウィークです。連休期間中は、家族揃って出かけたり、地域行事に参加する機会が多くなると思います。有意義な計画を立て、親子のコミュニケーションを深める機会にしてください。

連休中も自然災害など危険に遭遇する場合があります。その際、子ども達自身で、どんな危険が潜んでいるか気づき、その危険がどんな事故等を招くか予想し、その事故等を避けるためにどのように対応するかなど、危険を予測し、自ら回避することが必要です。いかなる状況下でも子どもたちが自ら考えて判断できる能力を育てていかなければなりません。

連休中の安全確保について、御家庭でもお話しくださいますようお願いいたします。

1 交通安全

(1) 交通ルールを守る

(飛び出さない、信号を守る、歩道を歩く、自転車の二人乗りをしないなど)

(2) 道路で遊ばない

2 不審者から身を守る

(1) 「いかのおすし」を守る

(いかない、のらない、おお声を出す、すぐ逃げる、しらせる)

(2) 見知らぬ人とは、離れる

3 気象災害(大雨、雷、暴風、竜巻、土砂災害、浸水等)

4 地震・津波

5 弾道ミサイル発射、犯罪予告、テロ

6 インターネット上の犯罪

(1) SNS上では個人情報や写真は絶対書き込まない

また、基本的な生活や健康を保つ生活(食事、運動、睡眠等)にも気をつけて過ごしましょう。

★緊急時には

不審者対応では、見知らぬ人と両手を広げたぐらいの距離を保つなど具体的なお話をします。このことにより、近所の人があいさつしても、あいさつしないなどという事もあります。

危険予測、危険回避は、子ども達にとって判断が難しい事ですが、ひとつひとつ学んでいくことが大切です。

また、救急車の要請などの場合は、正確に名前、住所、状態など伝える事が必要になります。先日、本校の2年児童が、救急車の要請を一人で行い、家族を助けた事案がありました。反対に、学校の公衆電話から警察、消防にいたずら電話をした事案もありました。

学校では、これからもあらゆる場面で「気づき考え行動できる」よう努めていきたいと考えています。

★指定避難所(浦添市)

浦添小学校は、浦添市の指定避難所です。(標高101.3m)

地震などの大規模災害で、家屋の倒壊や焼失などにより、現に被害を受けた人や受ける恐れがある人を一定期間公共の建物等に収容して保護する所です。

一時的に危険を回避するために避難をする「**避難場所**」として**学校敷地内(運動場等)に避難**する場合は、避難生活を送る避難所と違って水や非常食の備えは提供がありませんので、ご自身で準備するなどご注意ください。**※校舎や体育館は開きません**

★お土産等の自粛について

近年、食の安全や食物アレルギー等への対応が求められ、本校においても実態を把握し指導を行っているところです。

家族旅行や部活動県外大会からのお土産につきましては、材料の把握が十分でない等の理由から、学級への食べ物の差し入れの自粛をお願いいたします。

なお、旅行先で見聞したことや体験等の「おみやげ話」は聞かせていただければと考えております。御理解、御協力をお願いします。